

県立八鹿高等学校 新入生 校長講話

1 はじめに

新入生の皆さん。おはようございます。

学年主任の先生から講話をしてくださいとのご依頼がありました。何を話そうか迷いましたが、40年前の高校生活を思い出しながら、新入生の皆さんへの思いを20分程度お話しします。

2 自己紹介で人間関係をきずこう

(自己紹介)

なぜ、自己紹介をするかということ、自分自身のことを理解し、自分のことをできるだけ知ってもらうことは、お互いの誤解が少なくなり、安心でき、人間関係をうまくつくることにつながるからです。

自分のクラスで、初対面同士だと、あの人どんな人かなと不安になって、動きにくくなります。ですから、自分から自分はこんな人ですとメッセージを出していくことは大切です。

そして、八鹿高校でつくる良い人間関係は、一生の財産になります。高校卒業後、八鹿を離れる人も八鹿に留まる人も、八鹿高校卒業生・同窓生であることで、再会し、助け合う・支え合う関係が生まれます。

3 大きな声で、あいさつをしよう

あいさつです。相手の目を見て、大きな声であいさつをするということです。「おはようございます」「こんにちは」「さようなら」「ありがとうございます」「失礼します」などのあいさつを、相手の顔を見ながら、大きな声ですることが大切です。相手の顔を見ると、背筋がぴーンと伸びます。そして、大きな声であいさつすると、相手を大切にしていますというメッセージが伝わります。ボソボソっとあいさつをされるとどうですか？ 元気なあいさつをされると気持ちが良いのは、自分が大切にされていると感じるからです。

私も、生徒の皆さんと廊下などですれ違つと、「おはようございます」とか「こんにちは」とあいさつをするようにしています。

八鹿高校生は、元気にあいさつをしますねと言ってもらえるようにしましょう。

4 一生懸命に、とことんやる

勉強でも部活動でも仕事でも、一生懸命、集中してすることが大切です。適当に中途半端にしていると、やっているだけで、時間がかかっているだけで、成果はあまりあがりません。やる以上は、一生懸命、集中してとことんすることをお勧めします。

しかし、一生懸命して、結果がついてくる場合もあるし、勝負の世界ですと負ける場合もあります。しかし、うまくいかないこと、失敗、負けからも必ず学ぶことがあります。一生懸命やるからこそ、失敗から学ぶことができます。

5 頭でできない理由を考えるより、まず、やってみる

私は仕事では、いろいろと相談に来られた時「できることはします」と言うようにしていま

す。「できないことはできない！」のですか、言い方として前向きな表現をします。最初からできない理由を考えて、後ろ向きになるより、前向きにどうしたらできるかを考えることが大切であると考えています。そして、実際にやってみないとわからないことがたくさんあります。高校生は、若いですから、できない理由を考えるより、とにかくやってみて、うまくいかない場合は、どうすればうまくいくか考え、もう一度チャレンジすることを是非、やってみてください。

6 おわりに

4月11日（日）に先輩による部活動紹介がありましたが、素晴らしいですね。八鹿高校の元気よさを感じました。是非、勉強に部活動に一生懸命がんばり、充実した高校生活を送ってください。

八鹿高校生であることに自信と誇りをもち、いっしょに頑張っていきましょう。

※ 内容は講話の概要です。